

平成30年8月8日、区内の各学校に給食用食材を納入している「由起食品株式会社」が、冷蔵保存用に設定された賞味期限内に冷凍保存に切り替えた鶏肉を、冷凍保存用としての賞味期限の設定がされない状態で都内の小中学校に納入していたとの報道がありました。現時点で、教育委員会が確認できた状況についてお知らせいたします。

納入業者によれば、該当の鶏肉は冷凍状態で仕入れたものを解凍し、区内の小学校4校、中学校2校に納入していたとのこと。また、納入された時期は、平成28年11月28日～平成28年12月20日ですが、これによる健康被害は報告されておられません。

今回の状況を踏まえ、2学期以降の給食食材につきましては、当面、当該事業者への発注を控えることといたします。

なお、給食で使用する食材は、毎日学校において納入に立ち会い、現品を確認し検収を行っておりますが、引き続き安全な食材の確保を徹底してまいります。

今後とも、安全でおいしい学校給食を提供できるよう努めてまいりますので、保護者の皆様におかれましては、ご理解、ご協力をお願いいたします。